

公益社団法人横浜市社会福祉士会横浜支部
横浜市社会福祉士会 2020年度全体会



2020年5月31日（日）

2020年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部

(横浜市社会福祉士会)

全体会資料

1. 2019年度活動及び会計報告・2020年度活動計画及び予算など

(1) 横浜支部2019年度活動報告(別途全体会スライド資料参照)・P.2

(2) 地域連絡会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2

地域連絡会2019年度活動報告及び2020年度活動計画

(3) 2019年度会計報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(4) 横浜支部2020年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・P.10

(5) 2020年度幹事紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P.11

(6) 2020年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・P.12

2. 資料

(1) 神奈川県社会福祉士会横浜支部(横浜市社会福祉士会)のあゆみ・P.13

(2) 支部組織及び運営規則・・・・・・・・・・・・・・・・P.14

(3) (公社)神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項
P.17

(4) 2020年度地域連絡会のご案内・・・・・・・・P.19

(5) 支部ロゴマーク及び支部キャラクター・・・・・・・・P.20

(1) 横浜支部 2019 年度活動報告（別途全体会スライド資料参照）

(2) 地域連絡会について

1) 北部地域連絡会（青葉区、都筑区、緑区を中心とした地域）

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：青葉区福祉保健活動拠点

2019年度活動報告（青葉区連絡会としての活動報告）

4月	25日（木）定例会 内容：講和「障害年金について」 講師：メイクル経営管理事務所、脇田氏	10月	24日（木）定例会 内容：青葉区区民祭準備
5月		11月	3日（日）あおば区民祭り参加 会場：青葉区役所
6月	14日（木）見学 内容：依存症治療病院見学 会場：大石クリニック	12月	19日（木）定例会 内容：次年度の活動構想、区民祭振り返り 19日（木）忘年会 会場：市ヶ尾
7月		1月	
8月	22日（木）学習会 内容：生活困窮者自立支援法について 22日（木）暑気払い 会場：市ヶ尾	2月	27日（木）定例会 内容：見学・学習会の打ち合わせ、次年度の活動決定
9月		3月	

2020年度活動計画

4月	23日（木）定例会 内容：今年度の打ち合わせ	10月	22日（木）定例会 内容：青葉区区民祭準備
5月		11月	3日（火）あおば区民祭り参加 会場：青葉区役所
6月	25日（木）学習会 内容：生活保護について	12月	17日（木）定例会 内容：次年度の活動構想、区民祭振り返り 17日（木）忘年会 会場：未定
7月		1月	
8月	27日（木）定例会、暑気払い 内容：青葉区区民祭準備（内容、役割分担決定、申し込み）	2月	27日（木）定例会 内容：次年度の活動決定
9月		3月	

2) 港北区連絡会

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：港北区福祉保健活動拠点

2019年度活動報告

4月	18日(木) 定例会 内容：学習会打合せ	10月	17日(木) 定例会 内容：学習会打合せ
5月	19日(日) らくらく市参加 会場：菊名地区センター	11月	30日(土) 連絡会主催学習会・望年会
6月	1日(土) ふるさと港北ふれあいまつり参加 会場：新横浜少年野球場 20日(木) 定例会 内容：学習会打合せ	12月	
7月	25日(木) 暑気払い 会場：新横浜プリンスペペ	1月	
8月	22日(木) 定例会 内容：学習会打合せ	2月	20日(木) 定例会 内容：今年度の振返り及び次年度計画 他
9月		3月	

2020年度活動計画

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・16日(木) 定例会…中止 内容：学習会打合せ *らくらく市参加団体に出席を呼びかけヒアリングを行う 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと港北ふれあいまつり参加 日時：未定 会場：新横浜少年野球場 ・らくらく市参加 日時未定 会場：菊名地区センター
5月		11月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・18日(木) 定例会 内容：学習会打合せ 他 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・5日(土) 学習会 内容：未定 講師：未定 会場：大豆戸地域ケアプラザ(予定) ・5日(土) 望年会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・30日(木) 暑気払い 	1月	
8月		2月	<ul style="list-style-type: none"> ・28日(木) 定例会 内容：今年度の振返り及び次年度計画 他
9月		3月	



らくらく市にて



ふるさと港北ふれあいまつりにて

3) 鶴見区連絡会

定例会：毎月第3月曜日 18：30～21：00 に実施 会場：鶴見区福祉保健活動拠点

2019年度活動報告

4月	15日(月) 定例会 内容：ヘルパーと成年後見	10月	21日(月) 定例会 内容：法人後見について
5月	20日(月) 定例会 内容：地域の空き家対策について	11月	18日(月) 定例会 内容：横浜市障害者後見的支援制度について
6月	17日(月) 定例会 内容：情報セキュリティについて	12月	26日(木) 定例会 内容：望年会 場所：デイサービスセンター八重子さんち
7月	27日(土) 後援会 内容：「安心できる相続のために」 ～相続・家族信託の活用術～ 講師：ラックコンサルタント 八木橋 昭夫 氏	1月	27日(月) 定例会 内容：年度計画 高齢者の収支
8月		2月	17日(月) 定例会 内容：スティグマ、健康格差について
9月	17日(月) 定例会 内容：望まれる被災地の受援力	3月	16日(月) 定例会 (感染症予防のため中止)

2020年度活動計画

4月	20日(月) 定例会 内容：感染症について	10月	19日(月) 定例会 内容：
5月	18日(月) 定例会 内容：栄養不足？	11月	16日(月) 定例会 内容：
6月	15日(月) 定例会 内容：認知機能？	12月	21日(月) 定例会 内容：望年会 場所：デイサービスセンター八重子さんち
7月	26日(日) 講演会 内容：精神疾患と依存症	1月	18日(月) 定例会 内容：
8月		2月	15日(月) 定例会 内容：
9月	28日(月) 定例会 内容：	3月	15日(月) 定例会 内容：

3) 中部地域連絡会（神奈川区、西区、中区を中心とした地域）

定例会：毎月原則第4木曜 19：00～21：00 に実施 会場：西区福祉保健活動拠点フクシア

2019年度活動報告

4月	25日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等	10月	24日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等
5月	23日（木） 定例会 内容：成年後見制度における区長申立について 講師：横浜市中区高齢・障害支援課ケースワーカー 西尾直美氏	11月	25日（月） 定例会 内容：朝鮮学校への高校無償化排除問題を考える 講師：NPO かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裴安（パイアン）氏
6月	27日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等	12月	26日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等、忘年会
7月	25日（木） 定例会 内容：成年後見人の引け時、決め時～高齢社会を見据えて仲間と考える～	1月	23日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等
8月		2月	
9月	20日（金） 定例会 内容：寿町健康福祉交流センター見学会	3月	

2020年度活動計画

4月	23日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等	10月	22日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等
5月	28（木） 定例会	11月	26日（木） 定例会
6月	25日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等	12月	24日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等、忘年会
7月	30日（木） 定例会	1月	28日（木） ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、相談、情報交換等
8月		2月	
9月	24日（木） 定例会	3月	25日（木） 定例会



南部連絡会（南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、戸塚区を中心とした地域）

定例会：偶数月第1金曜 19:00～21:00 に実施 会場：桜道コミュニティハウス

2019 年度活動報告

4月	5（金）「私の話したいこと」 徳田氏：（地域サロンについて）	10月	4日（金）海外研修報告 岩崎氏（シンガポールの児童施設）
5月		11月	
6月	7日（金）「外部講師」 加藤木氏： 「障がいのある方のシェアハウス」	12月	6日（金）「忘年会」
7月		1月	
8月	2日（金） 障がい当事者のお話 田村氏：自閉症について	2月	7日（金）「多文化共生社会の実現に向けて」 野田氏・木村氏
9月		3月	

2020 年度活動計画

4月	中止	10月	2日（金）
5月		11月	
6月	5日（金）	12月	4日（金）「忘年会」
7月		1月	
8月	7日（金）	2月	5日（金）「振り返り・次年度に向けて」
9月		3月	

西部地域連絡会（保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区、泉区を中心とした地域）

定例会：毎月原則第3木曜 18：30～20：30 実施 会場：旭区市民活動支援センター（みなくる）

2019 年度活動報告

4月	18日（木）地域連絡会 内容：勉強会「成年後見等審判資料としての本人情報シートについて」：篠崎氏	10月	17日（木）地域連絡会 内容：見学会「よこはま西部ユースプラザ」 活動報告、情報交換等
5月	18日（土）14:00～16：30 ぱあとなあ地区会 内容：他士業との合同事例検討会 （市民後見人オブザーバー参加）	11月	16日（土）14:00～16：30 ぱあとなあ地区会 内容：他士業との合同事例検討会 （市民後見人オブザーバー参加）
6月	20日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、事例報告、情報交換等	12月	19日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、小グループでの近況報告
7月	18日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、事例報告、情報交換等	1月	16日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、事例報告
8月	22日（木）地域連絡会 内容：勉強会「IRとギャンブル依存症を考える」：中澤氏	2月	20日（木）地域連絡会 中止 ※勉強会「社会福祉協議会について」は延期
9月	19日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、事例報告、情報交換等	3月	19日（木）ぱあとなあ地区会 中止 ※活動報告をメールで配信

2020 年度活動計画

4月	16日（木）地域連絡会 中止 内容：活動報告、相談、勉強会「社会福祉協議会について」	10月	15日（木）地域連絡会 内容：活動報告、勉強会
5月	9日（土）14:00～15:00 ぱあとなあ地区会 内容：近況報告（オンライン会議）	11月	<未定>（土）14:00～16：30 ぱあとなあ地区会 内容：他士業との合同事例検討会
6月	18日（木）ぱあとなあ地区会 内容：近況報告（オンライン会議）	12月	17（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、近況報告
7月	16日（木）ぱあとなあ地区会 内容：近況報告等（オンライン会議）	1月	21日（木）ぱあとなあ地区会 内容：活動報告、近況報告
8月	20日（木）地域連絡会 内容：活動報告、勉強会	2月	18日（木）地域連絡会 内容：活動報告、勉強会

2019年度
公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部会計報告書
(横浜市社会福祉士会)

収入の部

(単価：円)

科 目			予算額	決算額	説 明	
款	項	目				
1 交付金			421,960	421,960		
	1 交付金		421,960	421,960		
		1 支部活動費		321,960	321,960	県士会より
	2 支部公益事業活動費		100,000	100,000	県士会より	
	2 補助金			0	0	
1 補助金			0	0		
2 寄附金			0	0		
	1 寄附金		0	0		
		1 寄附金		0	0	
3 諸収入			30,000	48,002		
	1 諸収入		30,000	48,002		
		1 事業収入		30,000	48,000	研修受講料・関東学院大より
		2 雑収入		0	2	利息
4 繰越金			78,040	78,040		
	1 繰越金		78,040	78,040		
		1 繰越金		78,040	78,040	前年度繰越
収入合計			530,000	548,002		

支出の部

(単価：円)

科 目		予算額	決算額	説 明
旅費交通費		154,000	85,670	幹事交通費等
通信運搬費		0	140	郵便代等
消耗品費		34,000	17,975	区民まつり配布物等
印刷製本費		105,000	38,588	資料印刷代等
委託費		30,000	30,000	新キャラクター企画
賃借料		0	22,130	研修会場利用料
諸謝金		180,000	172,000	講師謝礼
支払負担金		20,000	21,400	区民まつり出店料
支払手数料		7,000	3,268	振込手数料等
支出合計		530,000	391,171	
繰越金			156,831	

2020年度公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）

活動計画(案)

2002年11月17日（日）、横浜市開港記念会館に80名を越える横浜の社会福祉士が結集し、公益社団法人神奈川県社会福祉士会 横浜支部（横浜市社会福祉士会）が誕生しました。そして、同日の交流の場で、「より地域に密着した活動」「顔の見える関係作り」を進めようとの思いから、各区・地域の仲間が集まり、横浜支部の特徴的な取り組みの一つである「地域連絡会」活動が始まりました。

2020年度の横浜支部は、この間の支部の歩みを大切にしつつも、コロナ禍にある現在、これまでの取り組み・スタイルにとらわれない自由な発想を持ち、「いま会員が求めていることは何か」「いま地域で何を行うべきか」を考え活動していきます。社会福祉士は市民生活の応援団と言えます。困難な状況にある今、一層、地域に心を寄せることの出来るソーシャルワーカー集団としての「横浜支部」の歩みを、一緒に創っていきましょう。

◆基本方針1 柔軟で双方向性を重視した支部運営を進めます

地域連絡会やプロジェクト等の活動等を通じて会員の想いが支部運営に反映される柔軟で双方向性を重視した支部運営を進めます。また、コロナ禍にある現在、オンラインを活用した支部運営を積極的に進めます。

取り組み：地域連絡会活動等への人的・物的支援、地域連絡会交流会（インター連絡会）の開催、ハグミプロジェクトの推進、各地域連絡会からの支部幹事選出、

◆基本方針2 支部活動の「情報発信」をさらに進めます

地域連絡会の活動や、支部主催の研修、幹事会の様子、ハグミプロジェクトの進捗状況などをタイムリーに会員に紹介し、横浜支部全体の活動の「見える化」を進め、会員が支部活動に参加しやすくなる環境作りを進めます。また、市民へのPRを積極的に行い、社会福祉士また支部活動への理解を促します。

取り組み：連絡会・活動報告・幹事会報告をブログ・フェイスブック・会員用メーリングリストで発信、「ハグミプロジェクト」の進捗をインスタグラム等で紹介、県土会広報への研修情報等掲載、研修・イベント等で支部活動紹介

◆基本方針3 社会福祉士が社会福祉士を支え、会員同士が育ち合う仕組み作りを進めます

横浜支部では「人と人のつながり」を通じて、「人から人へ伝えていくこと」を大切にしてきました。この想いを大切にしつつ、下記の取り組みを通じて、社会福祉士の「専門性」や「独自性」等について語り合い、考え合う場を持つと共に、仲間意識の醸成に寄与するような取り組みを進めます。また必要な取り組みを創出します。なお、コロナ禍にある現在、当面はオンラインを活用した取り組みを進めます。

取り組み：学習会の開催、養成校ゲストスピーカー派遣、人材センターの就職相談会協力、「先輩社会福祉士に聞く」開催、気軽な立ち寄り処「ハグミサロン」開催、県土会組織向上委員会企画協力の開催、その他必要な活動の創出

◆基本方針4 地域とつながり、地域の福祉への貢献を進めます

会員と共に社会福祉士として地域の福祉に寄与するために必要な取り組みを考え、進めます。なお、コロナ禍にある現在、状況把握に努め、当面はオンラインを活用した取り組みを模索します。

取り組み：市民向け講演会の開催、地域の会合への出席、「区民まつり」等地域イベントへの参加

2020年度活動計画（月別）

4月	・オンライン幹事会	10月	・オンライン幹事会 ・「福祉のしごとフェア」相談員派遣 ・地域バザー参加（港北区） ・区民まつり参加（港北区）
5月	・オンライン幹事会 ・全体会（書面確認）	11月	・オンライン幹事会 ・区民まつり参加（青葉区） ・基礎研修Ⅰへの参加
6月	・オンライン幹事会	12月	・オンライン幹事会 ・「ZOOM 倫理カフェ」
7月	・オンライン幹事会 ・「ZOOM 倫理カフェ」	1月	・オンライン幹事会 ・「先輩社会福祉士に聞く」研修
8月	・オンライン幹事会	2月	・オンライン幹事会 ・地域連絡会交流会（インター連絡会）
9月	・オンライン幹事会	3月	・オンライン幹事会

○支部企画研修会…2020年度は、コロナ禍の中でつながりが希薄になりがちな社会福祉士同士が、日頃感じていることや抱えていることを語り合い、繋がりを再確認し、元気になる…ことを目指し、オンラインを活用した「ZOOM 倫理カフェ」を開催予定（開催日等は後日案内）

○市民向け講演会（鶴見区・港北区）を今年度も開催予定（開催日・開催形態等は後日案内）

○会員の気軽な立ち寄り処「ハグミイサロン」を今年度も開催予定（開催日・開催形態等は後日案内）

2020年度 横浜支部幹事名簿

	氏名	役職	地区	ひとこと
1	松下 圭一	支部長	港北	「ピンチはチャンス!!!」…こんな時だからこそオンラインの活用など、新しい活動のスタイルを模索しながら、「つながり作り」を進めます。
2	尾形 淳子	副支部長	南部	「入ってよかった社会福祉士会」と思えるようにみんなで作っていききたいです。
3	一色 茂雄	副支部長	鶴見	今までよりもよりのつながりが意識されるようになりそうです。オンラインでも様々な形でのつながりができるよう取り組んでいきます。
4	江原 顕	副支部長	港北	
5	中島 礼子	会計	西部	分野を問わず、広く浅くやっております。
6	坂元 正樹	総務	北部	
7	佐藤 永弘		鶴見	
8	徳田 千春		南部	
9	日向 明		南部	
10	谷川 謙		中部	
11	佐藤 恵美子		中部	こんな時だからこそ人とのつながりを大切に活動していきたいと思います、よろしくお願いします。
12	鹿野 直也		北部	

公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）

予算

収入の部

(単価：円)

科 目			予算額	説 明
款	項	目		
1 交付金			343,169	県士会より 県士会より
	1 交付金		343,169	
		1 支部活動費	243,169	
	2 支部公益事業活動費	100,000		
	2 補助金		0	
1 補助金		0		
2 寄附金			0	
	1 寄附金		0	
		1 寄附金	0	
3 諸収入			30,000	
	1 諸収入		30,000	
		1 事業収入	30,000	
		2 雑収入	0	
4 繰越金			156,831	前年度繰越
	1 繰越金		156,831	
		1 繰越金	156,831	
収入合計			530,000	

支出の部

(単価：円)

科 目		予算額	説 明
旅費交通費		137,000	研修スタッフ・幹事交通費
通信運搬費		0	
消耗品費		37,000	文具代、広報用物品代
印刷製本費		119,000	資料、広報チラシ印刷代
委託費		30,000	デザイン委託料
諸謝金		180,000	講師謝礼
支払負担金		20,000	区民まつり出店料
支払手数料		7,000	振込手数料
支出合計		530,000	
差し引き		0	

神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）のあゆみ

- 平成 5 年 県士会県内 4 ブロックに分け、地区活動推進する方針 川崎と地区活動へ
- 平成 6 年 阪神大震災募金活動
- 平成 7 年 横浜地区、川崎地区分かれて活動へ
- 平成 13 年 支部活動検討
- 平成 14 年 横浜支部（横浜市社会福祉士会）設立 初代須田支部長就任
- 平成 15 年 ホームレス夜間街頭相談 港北区連絡会開始
- 平成 15 年～18 年 つるふく（鶴見区）、南部地域連絡会設立
- 平成 18 年 劇団かもめ座中野地域ケアプラザにて上演
- 平成 19 年 第 2 代菅野支部長就任
- 平成 20 年 日本社会福祉士会全国大会神奈川大会特別分科会 成年後見劇実施
西部地域連絡会開始
- 平成 21 年 中部地域連絡会設立
- 平成 22 年 「たまひよクラブ」開始（平成 27 年より県士会組織向上委員会事業）
- 平成 23 年 東日本大震災 たきがしら一時避難所にて生活相談を実施
- 平成 25 年 第 3 代徳田支部長就任
- 平成 24 年 「支部間交流 BBQ 大会」開始（平成 27 年より組織向上委員会事業）
- 平成 27 年 第 4 代中島支部長就任
- 平成 28 年 青葉区連絡会設立 横浜支部連絡会交流会開始
- 平成 29 年 第 5 代島田支部長就任
- 平成 30 年 横浜支部キャラクター「ハグミィ」誕生
- 平成 31 年 第 6 代松下支部長就任
- （令和元年） 北部地域連絡会設立（青葉区連絡会合流） 「たまひよユース」開催
ハグミィプロジェクトとして「チャレンジ・ド・コンサート」に出場
- 令和 2 年 4～5 月 新型コロナウイルス感染症が拡大。神奈川県社会福祉士会では国の緊急事態
宣言を受け、今年度中の集合形態による事業を実施しないことを決定。
横浜支部初の「オンライン幹事会」を開催。会員のつながりを育むための取り組みとして、オンライン「たまひよオアシス」の実現に向けて鋭意準備中。

資料2

支部組織及び運営規則

（趣旨）

第1条 この規則は、公益社団法人神奈川県社会福祉士会（以下「本会」という。）定款第3条の目的及び第60条支部組織規定に基づき、より県民に近い地域で行うことが望ましい公益事業等を行うために支部の設置並びに運営に関して必要な事項について定めることを目的とする。

2 本会は、会員が、情報交換、県民のニーズの把握及び共有、支援に必要な専門知識及び技術の向上のために必要な事項について定めることを目的とする。

（目的）

第2条 支部は、第4条に定める区域を単位として本会会員の組織化、県民のニーズの共有、情報交換、研鑽をすすめることにより、身近な地域で活動できる場を作り、地域福祉の向上に寄与することを目的とする。

（事業）

第3条 支部は、定款第4条に定めるうち、身近な地域で展開することが望ましい事業を実施する。

- （1）支部内の社会福祉の援助を必要とする市民の権利擁護及び生活の向上に関すること。
- （2）県民の権利擁護及び地域福祉に対する意識の向上（啓発）に関する事業
- （3）支部内県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及に関すること。
- （4）他の福祉専門団体、医療機関等への知識・技術の提供及び協力・連携に関すること。
- （5）支部内会員の資質の向上のための研修会等、会員の研鑽に関すること。
- （6）会員間の情報の共有及び協力・連携に関すること。
- （7）その他支部内で必要と思われる事業。

（支部の設置）

第4条 支部は複数の市町村を単位とし、その構成は別表とする。

- （1）横浜支部
- （2）川崎支部
- （3）相模原支部
- （4）横須賀・三浦支部
- （5）湘南東支部
- （6）湘南西支部
- （7）県央支部
- （8）西湘支部

2 支部設置は、所属する会員数、機能性、地域性等を勘案し、より効果的に活動することが行えるように支部の改編をする。

（支部会員）

第5条 支部は、区域内に住所を有する本会員をもって、組織する。ただし、届け出により勤務地により所属を変更することができる。

- 2 支部会員は、本会会員として承認された時から支部に所属する。
- 3 県外在住会員については、勤務地の支部に所属する。

(支部役員)

第6条 支部には次の幹事を置く。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 1～3名
- (3) 会計 1～2名
- (4) 幹事 5～10名
- (5) その他支部長が認めるもの 若干名

2 幹事は、以下の方法で選任し、理事会の承認の後、会長が委嘱する。

- (1) 支部長は、支部会員の中から選出するものとする。
- (2) 幹事は、支部会員の中から選出するものとする。
- (3) 副支部長及び会計は、支部長が幹事の中から指名するものとする。

(職務)

第7条 支部長は、支部を代表し、支部の事業・運営を統括する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が職務を遂行できない状況に陥った時、その職務を代行し職務を行う。

3 幹事は、幹事会を構成し、支部の事業を推進する。

4 会計は、支部会計を適正に執行する。

(任期)

第8条 支部幹事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないが、連続4期を越えることはできない。

(会議及び役割)

第9条 支部の会議は以下の通りとする。

(1) 支部全体会

ア 事業計画及び予算

イ 事業報告及び決算報告

ウ 幹事の選出

エ その他支部の重要事項

(2) 支部幹事会

ア 事業計画・予算の立案

イ 事業運営(計画実施に必要な調整等)にかかわる事項

ウ その他支部活動にかかわる事項

(3) その他

(会計)

第10条 支部の経費は、本会活動費及び参加費、寄付金によってまかなう。

2 支部の事業計画及び予算案は、その内容を本会理事会に提出し、理事会でその承認を得るものとする。

(支部活動費)

第11条 支部活動費は、「共通基本額」のほか、事業規模、会員数などを勘案した「活動奨励費」によって構成され、支部活動支援事業費の予算の範囲内で支部に交付するものとし、交付額については、公益社団法人神奈川県社会福祉士会支部活動費交付細則(以下「支部活動費交付細則」という。)で定める。

2 第3条第7号の事業において、公益性が高いと理事会において判断された場合、その事業計画・予算に基づき「共通基本額」及び「活動奨励費」とは別に支部活動支援事業費の予算の範囲内でその経費を交付するものとし、交付額については、支部活動費交付細則で定める。

3 支部活動計画及び予算案は、前年度、理事会で定められた期日までに本会へ提出するものとする。

4 支部活動費の清算(決算)報告は、毎年4月10日までに行うものとする。

(改廃)

第12条 この規則の改廃は、理事会の決議による。

附則

1. この規則は、2013年4月1日から施行する。
2. この規則は、2017年10月15日から施行する。

2013年5月26日制定

2017年10月15日改訂

別表

支部名	市町村名
横浜支部	横浜市
川崎支部	川崎市
相模原支部	相模原市
横須賀・三浦支部	横須賀市 三浦市 鎌倉市 逗子市 葉山町
湘南東支部	藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町
湘南西支部	平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町
県央支部	綾瀬市 厚木市 大和市 海老名市 座間市 愛川町 清川村
西湘支部	小田原市 南足柄市 大井町 中井町 松田町 山北町 開成町 箱根町 真鶴町 湯河原町

※県外在住の会員は、その勤務先あるいは最も住所地に近い支部に所属するものとする。

(公社)神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項

1. (公社)神奈川県社会福祉士会横浜支部(以後、「横浜支部」)について

(1) 設立

2002年11月17日(日)、横浜市開港記念会館に80名を越える社会福祉士が結集し、(公社)神奈川県社会福祉士会横浜支部(横浜市社会福祉士会)の設立が宣言されました。

当面の目標として、

- 横浜支部の組織率を向上させ、支部としての組織固めを図ります。
- 横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います。
- 横浜支部としての地域特性を生かした事業を県社会福祉士会、県他支部との連携を図りながら行います。

が、総会で確認されました。

(2) 横浜支部の活動目的(HPより)

横浜市内を活動範囲として、社会福祉における相談援助の専門職である「社会福祉士」の持っている知識や技術等を地域福祉の促進に向けて提供し、貢献することを目的として活動しています。

高齢・児童・障害・生活保護等様々な分野で働く社会福祉士が地域の住民の方々と共に安心して暮らし続けることの出来る地域づくりに取り組んでいます。

2. 横浜支部地域連絡会(以後、「連絡会」)の設立

横浜支部が設立された同日、連絡会も設立されました。これは横浜支部の「当面の目標」にある「横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います」の目標に基づいたものです。

この時、鶴見区、港北区、栄区などが、「社会福祉士同士が地域で顔の見える関係を作ろう」「悩みや学びを共有しよう」と、まず先行して連絡会活動を開始しました。その後、「区単位での活動は現状難しいが、でも仲間が集える、学び合える場がほしい」との会員の声を受け、「ブロック単位」の連絡会が設立されました。

3. 連絡会活動が目指すもの

以下の通りとなります。

- 会員同士が顔の見える関係を作る
- 社会福祉士として必要な学びや交流を深める
- 地域の諸団体と積極的に関わることで、社会福祉士および社会福祉士会の活動への理解を促進する
- 社会福祉士会への加入促進を促し、仲間を増やす。

4. 連絡会の設置や活動のめやす

連絡会活動は横浜支部の活動です。社会福祉士会の会員相互の学びと交流を保障する場であるとともに、これから社会福祉士を目指す方の参加を保障する、オープンな活動が求められます。そこで、連絡会の設置や活動にあたり、下記の点をめやすとします。

(1) 設置

- ① 3名以上の設立発起人(会員)がいること ※現在、在勤・在住は問いません

- ②横浜支部幹事会との連絡役を置き、事前折衝が行われていること
※連絡先：横浜支部専用Eメール hamajimu@hotmail.co.jp
- ③オープンな連絡会運営を目指していること
- ④活動計画を作成していること

(2) 活動

- ①横浜支部幹事会に「幹事」を1名以上派遣すること
役割としては、連絡会と横浜支部幹事会とのパイプ役です。
連絡会の「想い」や「要望」などを横浜支部幹事会に届けるとともに、横浜支部幹事会での会議内容等を連絡会会員に伝え、情報の共有化を図ります。
横浜支部全体と連絡会、相互の活動がより活発になることを目指しています。
- ②連絡会内で役割分担を決めること
連絡会を組織的に活動していくために必要となります。
例)「地区社会福祉協議会への加入」「地区の区民祭りへの参加」「他団体との共同の企画」などの取り組みを進めるためには、「役員体制」とまでは言いませんが、連絡会の中で「世話人(窓口担当)」などの役割は決めておく必要があります。
- ③活動の拠点を決めること
連絡会活動の基本は身近な地域で、会員相互また地域の諸団体との関係を深めていくことにあります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりを作ることも大きな役割です。このため「集いやすい場所」の確保は大切なこととなります。
例) 各区社会福祉協議会(福祉保健活動拠点)、
障害者地域活動ホーム(地域交流室)
ケアプラザ(各種貸室)
地区センター(貸室)など
- ④定期的に活動を行うこと
定期的に活動を行うことで、会員相互の関係を深めるとともに、地域における社会福祉士の取り組みの周知にもつながります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりの場となります。
- ⑤支部の予算を使う場合には、年間2万円以内をめやすとして、横浜支部幹事会と協議すること

(3) 活動の休止

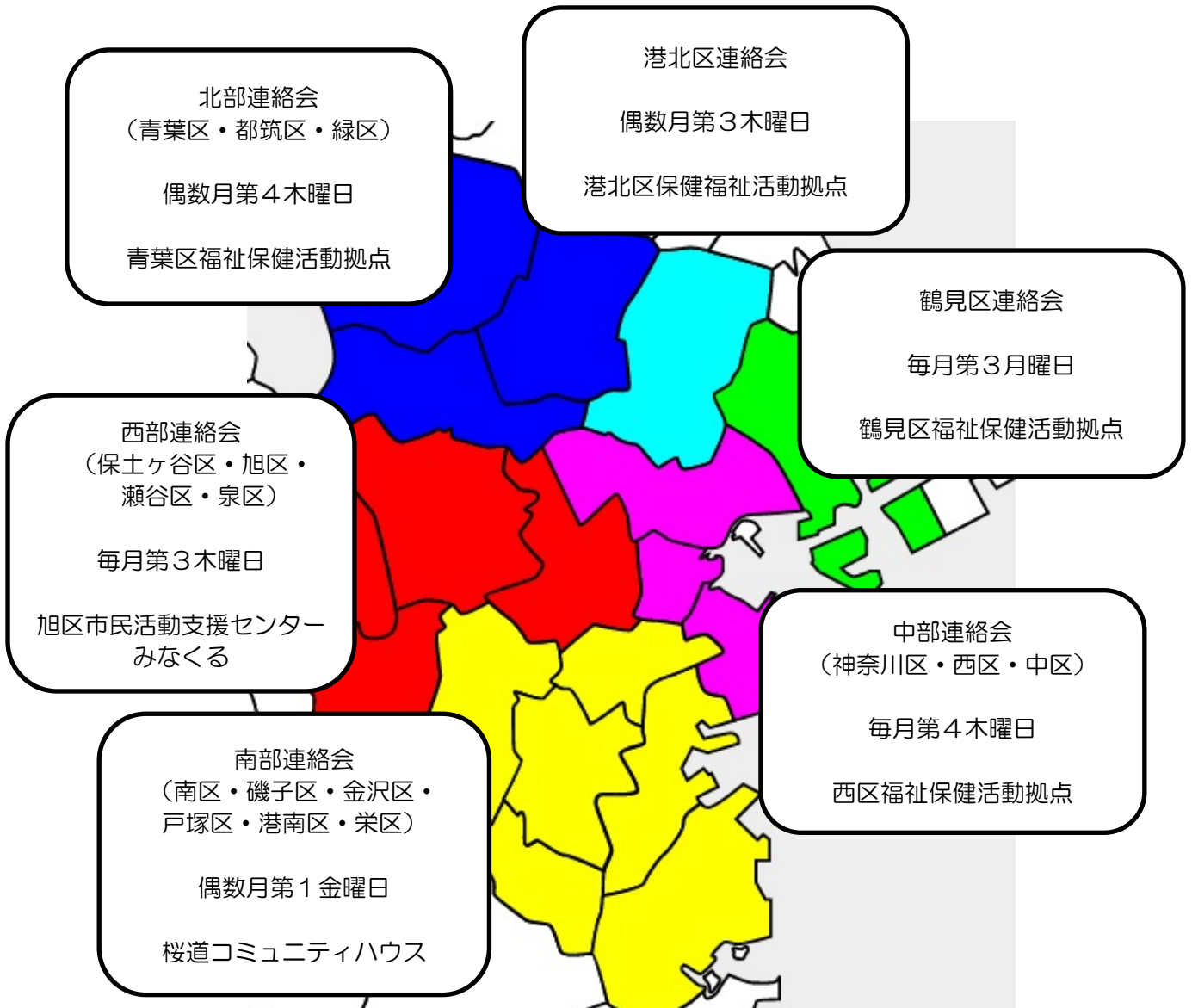
- 連絡会活動は横浜支部の活動計画に位置づけられた活動です。やむを得ず休止する際には、以下のようになります。
- ①休止について、連絡会内で複数の会員で議論する
 - ②横浜支部幹事会にて報告し、適宜、協議を行う

2016年2月8日 横浜支部幹事会にて確認

資料4

2020年度地域連絡会のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の緊急事態宣言を受け、神奈川県社会福祉士会では今年度中の集合形態による事業を実施しないことを決定しました。横浜支部としては「こんな時だからこそ、会員間のつながりを大切にしたい」との思いから、現在、オンラインによる「つながりの場」「交流の場」（例えば「たまひよオアシス」）を作ろうと鋭意準備を進めています。各連絡会でもメーリングリストや各種SNSツールを活用した「つながりの場」「交流の場」作りを進めています。



神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）では、身近な地域で顔の見える関係づくりを行うために、地域連絡会を設置しています。横浜市全区への設置を目指していますが、現在は、他の区と合同で地域連絡会の活動を行っている地域もあります。

地域連絡会は、支部幹事会と連携を図りながら活動しています。

地域連絡会への参加は、興味のあるテーマがあれば、在住在勤にかかわらず、ほかの地域の地域連絡会に参加することができます。なお、研修会等、定員の管理が必要な場合は事前に募集チラシ等でご案内しますが、そうでなければ、特に連絡なく参加していただいて構いません。ぜひご参加ください。

詳しくは、神奈川県社会福祉士会ホームページやフェイスブック、ブログでご確認ください。

資料5

1. 支部ロゴマーク



支部ロゴマークは2002年11月、横浜市社会福祉士会（神奈川県社会福祉士会横浜支部）設立時に作られました。

作者は血液の難病を患いつつも、ネット上ですぐれたホームページを制作する青年でした。

横浜支部の依頼を受け、港・かもめ・船・いかり・操舵をイメージした、マリンブルーのさわやかなロゴマークを作り上げて6日目、青年は脳溢血で倒れ、これが遺作になってしまいます。

しかし作者自身、納得のいくものが出来たと話していたこのロゴマークは、横浜の会員たちに愛され、今でも大切に使われています。

2. 支部キャラクターのご紹介



2018年春に誕生した、横浜市社会福祉士会（公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部）のキャラクターです。1年がかりの公募と投票と準備を経て、2018年5月20日の全体会でお披露目となりました。

色とりどりのハートが国際都市横浜の多様性を表し、そのハートでできているハグミィは、多様性を尊重するハマの福祉を象徴しています。そしてカモメをギュッと抱きしめて、福祉のあたたかさを表現しています。

今、ハグミィは様々な場所に登場して、社会福祉士会の活動や社会福祉士の仕事を紹介しています。とかく“見えにくい”“分かりにくい”と言われる社会福祉士ですが、ハグミィは子どもにも分かりやすく、だれにでも親しみやすく、PRをしています。

またハグミィは、ロゴマークとともに横浜市社会福祉士会のシンボルとなっています。ハグミィを目印に会員が集い、楽しく活動できるようにする、そんな役割も担っています。